

1. プログラム概要

プログラム名	交換留学 @フォルツハイム芸術工科大学
実施期間	2025 年 8 月 28 日（木）から 2026 年 2 月 21 日（土）までの約 6 か月間
対象	ドイツにある協定校で、専門科目を学ぶ学生
目的及び内容	ドイツにある NIBES 加盟校、フォルツハイム芸術工科大学にて英語で専門科目を学ぶ。英語でのメディア系専門科目の履修以外に、ドイツ語講義も受講。そのほか、FC バイエルンの本拠地・アリアンツアリーナの視察など、校外学習にも積極的に参加し、一層の英語運用能力の向上と、幅広い国際感覚の醸成を図る。

2. プログラム成果報告は下段表参照（全参加者のスコア平均）

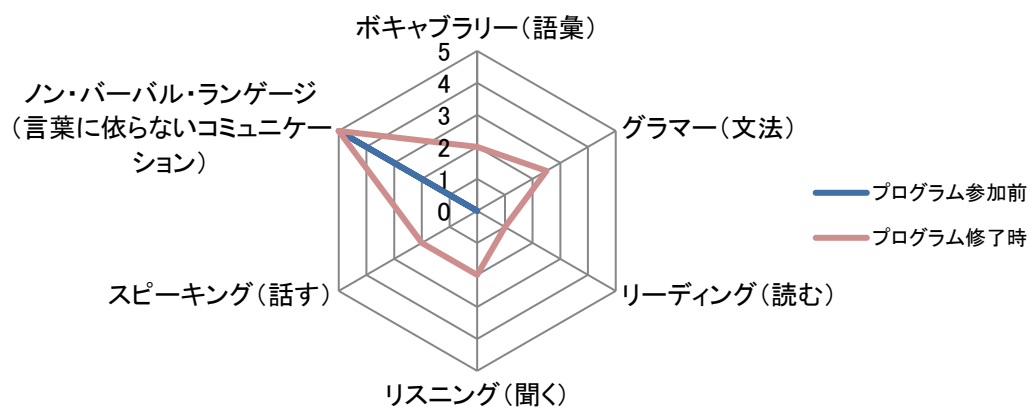
項目	要素	参加前	修了時
コミュニケーション力	ボキャブラリー（語彙）	0	2
	文法（文法）	0	2.5
	リーディング（読む）	0	1
	リスニング（聞く）	0	2
	スピーキング（話す）	0	2
	ノン・バーバル・ランゲージ（言葉に依らないコミュニケーション）	5	5
語学力合計点		5	14.5

異文化適応能力	洞察力	4	5
	傾聴力	4	5
	柔軟性	4	5
	受容性	4	5
	共感性	4	5
	持続力	4	5
異文化適応能力合計点		24	30

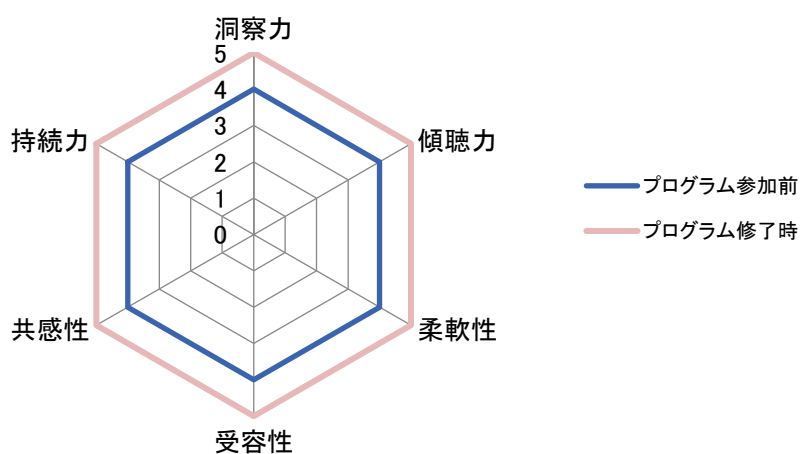
人間力	主体性・積極性	4	5
	チャレンジ精神	4	5
	発信力	4	5
	責任感・使命感	5	5
	協調性	5	4.5
	ストレスコントロール力	4	5
	規律性	5	3
人間力合計点		31	32.5

3. 自己評価チャート

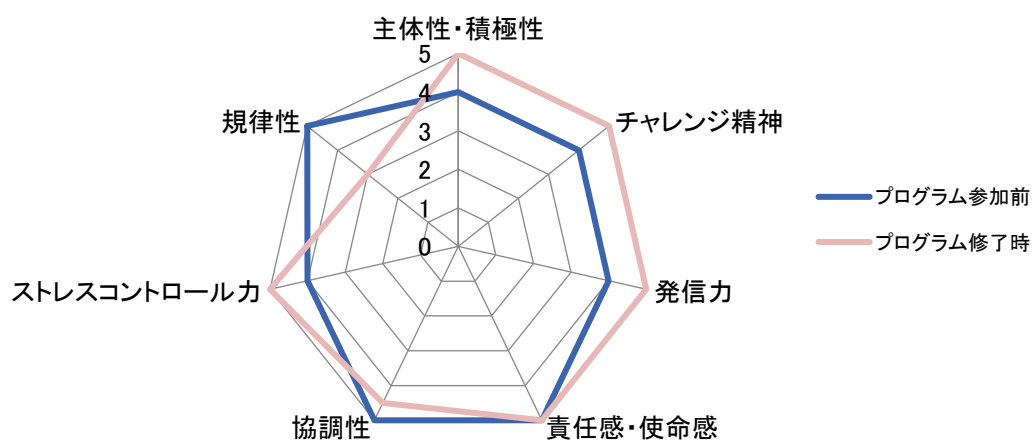
語学力自己評価チャート



異文化適応能力自己評価チャート



人間力、社会人基礎力自己評価チャート



4. プログラム報告書

1 特に専念した学習項目を教えてください。
●Doing Business in Germany and Europe
2 その成果について教えてください。
●ヨーロッパ、特にドイツのビジネスの現状理解。ヨーロッパで生活するにあたり、必要な常識（EU の役割や基準などの政治的、地理的、歴史的背景を学習。ヨーロッパと自国のビジネス比較。）
3 現地大学や本学職員の対応はどうですか？
●本学ほど常にオープンで気軽に話しに行けるオフィスはなく、もちろん留学生一人一人に職員が関わる機会は少なかった。しかし学部長への挨拶に伺ったり、些細なトラブル等で職員に助けを求めたりすることもあり、親身になって対応していただいた。また入学前からの手続き等も含め、全体、個人共にメール等でのやりとりは頼りになった。
4 大学・学校生活中、トラブルはありましたか？それをどのように解決したか教えてください。
●住民登録、ドイツのテレビ受信料支払い、保険やインターネット契約など入国してすぐにできておらず、何をすればいいのかもはっきり理解していなかったため、少し面倒だった。ドイツ鉄道の遅延や不正確なタイムスケジュール、チケットコントロールなどへの慣れ
5 その他（任意）
●
6 現地の人と交流して気づいた異なる習慣はありますか？異文化コミュニケーション・カルチャーショックを教えてください。
●ドイツ人は比較的ストレートな表現、思ったことを言うことを好むため、意見を伝える際の気を遣うことが少なく楽だった。 ●留学生として行動しているがゆえに、寮ではほぼポルトガルに留学しているような環境でその他、国ごとの国民性を大きく感じられた。またヨーロッパ全体として移民等の文化など。
7 留学プログラムに参加して、身に着けることのできた知識やスキルはどんなものですか？
●語学力だけではなくコミュニケーション能力、異文化適応能力
8 留学プログラムを通してどんなことを学び取りましたか？
●EU の仕組みや制度、多国籍の留学生とコミュニケーションをとる中での価値観の違い。異文化適応能力。 ヨーロッパ各国を訪れる中での国ごとの文化や現状、歴史の理解。
9 プログラムに参加して、自分に足りないと感じた知識やスキル等、学生が準備しておくよりよいことを教えてください。
●個人的には、他の留学生と接する中で日本について様々な分野で聞かれることが多く、歴史や政治等を理解し、説明できる必要があった。留学前に留学生科目の履修や RA など国際交流経験は豊富にあったため、友達作りや生活面での難しさはあまりなかった。
10 制度 ● 通学 ● 学費 ● 生活費 ● 観光などで次の学生に勧めてあげられるものはありますか？
●交換留学だったので学費などの負担はなかった。また大学からの補助もあり非常に助かった。 ●現地大学の国際スタッフからも奨学金を紹介していただけだったので、積極的に頼るべきだと感じた。 ●フォルトツハイム内のバスはまとめて 100€程度払い、電車も月ごとのサブスクで旅行費などは工夫可
11 プログラムを修了し、帰国後はどんな学生生活の計画を立てていますか？卒業後の計画も踏まえて書いて下さい。
●三年後期での留学だったので卒業後の進路、就活にも組みつつ学内での留学生との交流も積極的に行っていきたい。 また留学で身につけた行動力や積極性を忘れず過ごす。長期間海外で生活したことで、言語面だけではなく自分自身にも自信がついたので、卒業後もそういった環境に身を置いて世界で活躍できる人材になりたい。
12 その他、プログラムへの要望 ● 意見がありましたら記入下さい。